

1 事業概要

事務事業名	企画調整事務	課名	企画課	事業No.	27
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			飯田市庁議規程	
事業目的	対象	市政の課題			
	意図	適正に調整する。			

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)												
	<p>市政経営に係る高度で専門的な情報を収集するとともに、関係する機関や幅広い人的なネットワークを構築することにより、変化の激しい時代における市政の課題の調整に取り組みました。</p> <p>また、今後を見据えた事業に関する先進地への視察や各種研修への参加を通して、直接現状を把握するとともに、既存概念にとらわれない考え方を学びました。</p>		国、県等会議参加旅費	342	全国過疎地域自立促進連盟負担金	50	スローライフサミット負担金	0	南信州アルプスフォーラム補助金	270									その他の経費
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度											
	出張回数		回	27	26	29													
	政策会議・政策協議開催		回	27	26	26													
	部長会議開催		回	21	21	21													
	主管課長会議開催		回	8	13	13													
30年度決算(千円)	予算額		1,400	特定財源内訳及び補足事項															
	決算額		1,152																
	財源の状況	国庫支出金		0															
		県支出金		0															
		地方債		0															
		その他		0															
一般財源		1,152																	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	10	1	1,050	832	企画調整費
2	1	2	1	9	10	2	350	320	各種負担金
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		必要に応じて庁議を臨時で開催するなど、調整機能の強化、具体的な案件調整を積極的に行い、市政全般の課題解決に迅速に取り組むよう努めているものの、幅広い市政の課題に対し、調整すべき課題が多様化・複雑化し、量も増大化する傾向にあります。また、人的ネットワークの拡大を図り、市政に有用な情報を集め活用していくことが重要です。							
上記の課題解決のための有効策		各部局との連携を密にし、情報や知見を得るとともに、庁内の連携力を高め、横断的な体制で課題解決に取り組むことが必要です。また、関係する団体との積極的な連携・交流を通じて情報を集める必要があります。							
次年度に向けての取り組み		庁議の充実、調整機能の強化をさらに進めるため、課職員が担当部局と一丸となり課題の把握に努めます。また、課題に対して横断的な体制で取り組めるよう進めていきます。併せて、視野を広く新たな考え方を持つために、関係する団体との交流や外部への研修の機会を積極的に活用していきます。							